

松花堂美術館 平成30年度 初夏展

泰房庵 コレクション

平成30年5月26日(土)ー7月8日(日)

開館時間/午前9時〜午後5時(入館は4時30分まで)

休館日/毎週月曜日

観覧料/一般400円・学生300円・高校生以下無料

(庭園との共通券)一般760円・学生570円

(20名様以上団体2割引)



近代中国の
フレンドリーな
花鳥・山水画を中心に



右:何元鼎「花鳥図」
左:張子祥「魚草図」
円内上から:
白鶴年「葡萄架蟹図」
江稼園「柳下遊魚圖」(いずれも部分)

主催 八幡市立松花堂庭園・美術館(公益財団法人やわた市民文化事業団)

八幡市立松花堂美術館

京都府八幡市八幡女郎花43-1
お問合せ先 TEL.075-981-0010/FAX.075-981-0009
<http://www.yawata-bunka.jp/syokado/>



泰房庵コレクション



近代中国のフレンドリーな花鳥・山水画を中心に

平成30年 5/26(土) — 7/8(日)

〈展覧会ポイント解説〉
平成30年6月10日(日)、24日(日)、7月1日(日)
各日午後2時より、展示室にて
*参加無料(別途観覧料が必要です)
申込不要

展覧会では、江戸時代以降、日本を訪れた中国の画人の花鳥画、山水画を中心に展示します。

花鳥画には、古くから幸福や繁栄をあらわす吉祥のモチーフが用いられてきました。

例えば、「猫」と「蝶」を組み合わせた図は「耄耋図(ぼつてつ)」と呼ばれ、長命を寿ぐ画題となります。

「菊」もまた長寿延命を願うモチーフです。

「猫」、「蝶」、「菊」をあわせれば、さらにおめでたい内容となります。

画題の意味を知ると、画に対する親しみも増します。

そして、山水画にしばしば描かれる理想郷。

海を渡り、日本を訪れた画人の目には、日本もまた理想郷として映ったのかもしれません。

江戸時代以降、長崎に来航した画人が描いた山水画は、何かしら親近感を感じさせます。

展示作品数、約40点。

中国、日本の陶磁器(中国の染付、奈良の赤膚焼、南山城の鹿背山焼)も併せて展示します。

展示作品はすべて個人所蔵品(泰房庵コレクション)によるものです。



13



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10



11



12

1. 西太后「梅図」
 2. 雍正帝「漁翁旧作七言詩」
 3. 張子祥「耄耋図」
 4. 陳從周「楊柳鳥図」
 5. 大島来禽「花鳥図」
 6. 白鶴年「葡萄架鼠図」
 7. 何元鼎「花鳥図」
 8. 胡鉄梅「八百歳図」
 9. 王一亭「牡丹図」
 10. 江稼園「柳下遊魚図」
 11. 「陳冲澗肖像」
 12. 姚元之「花果図」
 13. 鹿背山焼吳須写大皿
- すべて個人蔵(泰房庵コレクション)

〔松花堂庭園(国指定史跡・名勝)〕

〔開園〕午前9時～午後5時(入園は4時30分まで)

〔休園〕毎週月曜日(月曜日が祝日の場合は翌平日)

〔料金〕一般 400円
学生 300円
こども 200円

(20名様以上団体2割引)

●ボランティアガイドによる
庭園案内/無料(要予約)



〔交通のご案内〕

●京都市から近鉄電車「丹波橋」駅より京阪電車乗り換え

(大阪方面)→「八幡市」駅または「榎葉」駅から

京阪バス乗り換え→「大芝・松花堂前」下車すぐ

●JR学研都市線「松井山手」駅から京阪バス乗り換え

→「大芝・松花堂前」下車すぐ

八幡市立松花堂庭園・美術館

〒614-8077 京都府八幡市八幡女郎花43-1

TEL 075-981-0010

FAX 075-981-0009

http://www.yawata-bunka.jp

〔京都 吉兆 松花堂店〕

「吉兆」の創業者・湯木貞一が、松花堂

昭葉の「四つ切塗箱」をヒントに生み出

した「松花堂弁当」。地元の野菜、季節

の鮮魚で彩られた「松花堂弁当」を、昭

葉ゆかりの地で是非ご賞味下さい。

※ご予約は吉兆松花堂店(075-971-3311)まで

